

# 上智学院一般事業主行動計画

(2009年4月1日～2012年3月31日)

2007年4月、上智学院は、教職員の職業生活と家庭生活との両立を支援し、すべての教職員が能力を最大限発揮できる多様な労働環境を提供するため、第1期上智学院一般事業主行動計画（以下、行動計画）を策定し、これまで目標の実現に積極的に取り組んできた。しかしながら、目標のすべては達成されておらず、『次世代認定マークーくるみんー』の取得にも至っていない。

この現状を踏まえ、第2期行動計画を以下のとおり策定する。

1 計画期間 2009年4月1日から2012年3月31日までの3年間

2 目標および行動計画

## 目標 1: 育児・介護支援諸制度の見直し

<対策>

- 育児者の短時間勤務の延長  
育児者の短時間勤務の対象者を小学校3年生までの子を持つ教職員に拡充する。
- 育児者の短時間勤務の柔軟化  
育児者の短時間勤務について、教職員の育児の実情に合わせて1時間15分の時間短縮を柔軟に取得できるようにする。
- 介護者の短時間勤務の柔軟化  
介護者の短時間勤務について、教職員の介護の実情に合わせて1時間15分の時間短縮を柔軟に取得できるようにする。
- 柔軟な働き方を支援する制度の再周知  
職員各個の人生設計に基づいた柔軟な働き方の実現を支援するため、すでにある専任職員身分転換制度や、職員再雇用制度の周知を強化し、効果的運用に資する。

## 目標 2 : 育児・介護に対する理解のある風土の醸成

### <対策>

- ・ 相談窓口の設置  
出産・育児・介護等について、教職員を支援するための相談窓口を設ける。
- ・ 次世代育成の啓発  
「次世代育成支援ガイドブック」(仮称)等のリーフレットを作成して、育児・介護支援諸制度の周知・啓発を行う。

## 目標 3 : 教員の産休・育児休業・介護休業取得の促進

### <対策>

#### 男女共同参画推進宣言

上智大学が教員にとって出産・育児のしやすい環境であることをアピールするために男女共同参画推進宣言を行う。

## 目標 4 : 男性教職員の子育て参加

### <対策>

#### 男性教職員の育児休業取得を促進

男性教職員の育児休業について、計画期間内に1人以上の取得することを目標とする。また、男性教職員の有給育児休暇を取得できるようにする。

## 目標 5 : 労働時間削減、有給休暇取得促進に関する取組みを行う。

### <対策>

- ・ 所定外労働時間の短縮  
所定外労働は、本来、例外的な場合のみ行われるものであるという認識を深め、残業に対する意識改善のための啓発等の取組みを行うことにより、時間外労働の短縮を図る。
- ・ 有給休暇取得の促進  
柔軟に休暇を取得できるよう、有給休暇の時間単位付与制度を導入する。

以 上